

袋井・森地区保健体育部研修会の様子を紹介します！！

<研修テーマ>「子どもたちの学びを深めるタグラグビーの指導法」

タグラグビーの研修は、本年度で2年目となり、昨年度の研修で学んだ内容を活かしながら、講師を招いて実技を行ったり、小グループで指導方法を検討したりして、より実践的で子どもに返せるような研修を進めています。



第1回袋井・森地区保健体育部研修会の様子 ～ヤマハ発動機ラグビー部「遠藤 広太」さんからの実技指導～

タグラグビーの基本ルールの説明や練習方法、試合の行い方を研修しました。

○ウォーミングアップ

- ・タグ取り
- ・タグ鬼ごっこ



タグ取りでは、**けが防止のため、片手を額に置く**といいかもしれません。

タグを付けて走ったり、相手のタグを取ったりすることで、身のこなし方を学ぶことができます。

また、タグを取った時に「**タグ**」と**大きな声で言うことを練習**することで、試合にもつながります。

○攻撃の練習

- ・ライン上にいるディフェンスをかわす。



ディフェンスはライン上しか動きません。

攻撃2名、守備1名の攻撃側が有利な状況で行います。ボールを持ってパスをしたり、走り込んだりすることで、**どのように相手をかかわすか**を学ぶことができます。

○パス練習

- ・ボール送り

1列に並んでボールを後ろの人に送ります。



ボールの渡し方、取り方の基本を動きの中で確認したり、身に付けたりすることができます。

- ・円陣パス

円になり、外を向いてボールを渡していきます。



☆詳細は、同じ学校で研修会に参加されている方や小学校体育連盟本部役員等に聞いてください。

【研修会の参加者に聞いてみました】

- タグラグビーを行うのが初めてでしたが、プロの選手に実技指導を受けることで、技能のポイントや練習方法が分かりやすかったです。
- 実践を踏まえた研修のため、ルールの確認や試合のイメージがしやすかったです。また、グループでの研修は、同じ単元でも様々な指導法があるため、勉強になります。